



Mutsu General Hospital

むつ総合病院



研修医日記

作成者：猿賀 達郎（2年次）

皆さんお久しぶりです。2年次の猿賀達郎です。

むつ病院での研修も残り半年となりました。本当にあつという間でしたが、本当に充実した毎日をご過ごしています。1年目の研修医たちも仕事について半年が経過し、ともに救急外来で働いていても遅しく、いろいろ仕事を頼ませてもらっています。

さて、マッチング結果が発表となりました。来年のむつ総合病院の一年次初期研修医は7名と決定しました。決定した研修医のみなさん、うちの病院を選んでくれて本当にありがとうございます。我々は君たちを全力で歓迎します。

むつ病院の研修はよく「体で覚える」と有名ですが、実際は自分で勉強したことをすぐに実践に移すことができるとても恵まれた環境だ、と感じます。私自身この一年半で実に多くの手技や、自分の考えと方針に沿った治療をしてきたな、と考えています。もちろん常に指導医の先生とのカンファレンスは密に重ね、医療行為もその先生と共に行っていますが、やはり「自分で考えて自分で行動に移せる」この病院で研修できることは幸せなことだと思います。ただ、いかんせん毎日のやる事がとても多いので、気付くと勉強がおろそかになります。そこは君たちの頑張り次第です。二年間頑張ってください。

現在は小児科で研修させていただいております。子供を相手にするのはその分責任感も強く感じますが、なにより楽しいです。今のシーズンはRSウイルスとマイコプラズマがものすごく流行っており、全国的にもRSウイルスの流行は話題になっています。ここにインフルエンザも来ますので、小さいお子さんたちは手洗いうがいをしっかりしましょう！

5月は沖縄の石垣諸島の中の小浜島診療所、6-7月は循環器、8月はメンタルヘルス科、9月は産婦人科でお世話になりました。二年目の半年は加速度的に過ぎ去っていましたが、医師としても人間としても少しは成長できたかな、と思います。印象的なことが多すぎましたが、全力で駆け抜けた半年でした。あと半年しか残っていませんが、悔いのないように頑張りきりたいと思います。むつの皆様、あと半年間よろしくお願いします。



写真は沖縄研修の時のものです。

※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。